

講演会・講習会

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHP などでご確認下さい。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、本誌に掲載された討論会に関する情報は、下記本会ホームページからご覧になることができます。
www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html

第409回 液体クロマトグラフィー 研究懇談会

—ここまで出来る、質量分析計を用いた
バイオ医薬品分析—

主催 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会

後援 日本化学会

会期 7月18日(金)13時~17時

開催方式 対面式

会場 株式会社島津製作所東京支社イベントホール(千代田区神田錦町1-3) [交通] 都営新宿線「小川町」駅徒歩6分

参加申込締切 7月11日(金)

近年、核酸やペプチド医薬に代表される中分子医薬、抗体医薬に代表される高分子医薬などの様々なモダリティの開発が活発に進められている。多種多様な創薬研究等において、質量分析計の役割は極めて高い。本例会では、バイオ医薬品等の分析に焦点をおき、質量分析メーカーを中心に、現状の進展について講演いただく。

- 講演主題概説(オーガナイザー)(東レリサーチセ) 竹澤正明
- バイオ分析に役立つ質量分析基礎講座(浜松医大/フレップアーズ/エムエス・ソリューションズ) 高橋 豊
- バイオ医薬品分野におけるアジレントの分析ワークフロー(アジレント・テクノロジー) 軸丸裕介
- 多角的アプローチによるAAVカプシドタンパク質の特性解析(サーモフィッシュサイエンティフィック) 永島良樹
- 質量分析計を用いたバイオ医薬品の定量分析(島津製作所) 寺田英敏
- イオンモビリティ等を駆使したバイオ医薬品の分析(東レリサーチセ) 竹澤正明
- 総括:バイオ医薬品に求められるMS(東理大) 中村 洋

参加費 学生1,000円、後援学会・個人会員4,000円、後援学会・団体会員4,500円、その他:5,000円

懇親会 講演終了後、情報交換会、会費5,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 141-0031 品川区西五反田1-26-2 五反田ハイツ304号(公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 電話(03)3490-3351 E-mail: masaaki.takezawa.f9@trc.toray <https://www.lckon.org/lckon/reikai/lckon0408.html>

2025年度夢・化学-21 高校生のための化学講座

主催 日本化学会東海支部 信州大学理学部

会期 7月19日(土)13時~17時

開催方式 対面式

会場 信州大学理学部A棟(松本市旭3-1-1) [交通] 「松本」駅からバスを利用する場合、信大横田循環線または浅間線に乗り「信州大学前」下車

参加申込締切 7月11日(金)定員(24名)になり次第

次の1~4の実験テーマから1つ選んで、実験してもらいます。

- 熱と温度の関係を調べる
- 化学発光物質の合成と発光の観察
- アルミホイル中の鉄の含有量を求める
- 清涼飲料水の金属イオンを調べる

対象 高校生(引率の先生の参加も可能です)。

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先 信州大学理学部理学科化学コース 竹内あかり <https://forms.gle/o2DwbHsYPZYUoN59>

問合せ先 390-8621 松本市旭3-1-1 信州大学理学部理学科化学コース 竹内あかり 電話(0263)37-2473 E-mail: taakar@shinshu-u.ac.jp

夢・化学-21 化学への招待

主催 日本化学会中国四国支部

会期 7月19日(土)12時30分~17時

開催方式 対面式

会場 徳島大学理工学部(徳島市南常三島町2-1) [交通] JR「徳島」駅下車徒歩20分、徳島市営バス「助任橋」または「徳島大学前」下車徒歩5分

参加申込締切 7月4日(金)

高校・高専の学生を対象とした実験講座を開催します。大学の専門課程の学生実験を指向した課題を体験してみよう。

- 牛乳からチーズを作ろう・タンパク質の化学
- 飲み物の化学~プラズマ発光を利用して市販飲料のミネラル成分を調べよう
- 毛髪中の有害重金属濃度を原子スペクトル分析法で調べよう
- 簡単な薬(医薬品)を作ってみよう
- ノーベル化学賞を受賞した反応を体験してみよう:有機マグネシウム試薬(Grignard試薬)を用いて色素を合成しよう!
- ノーベル化学賞を受賞した反応を体験してみよう:鈴木-宮浦カップリングを用いて光機能性材料を作ってみよう!
- ペットボトル水のCaとMgを分別して測定しよう

※変更される場合もあります。詳しくは、下記HPで確認して下さい。

参加費 無料(記念品を準備しています)

参加申込方法 E-mail

申込先・問合せ先 770-8506 徳島市南常三島町2-1 徳島大学理工学部自然科学コース 中村光裕 電話(088)656-7246 E-mail: nakamura.mitsuhiro@tokushima-u.ac.jp <https://www.chem.st.tokushima-u.ac.jp/ac-lab/>

2025年度 産業応用のための基礎化学講座

主催 京都大学福井謙一記念研究センター

後援 日本化学会

会期 7月25日(金)~2月4日(水)

開催方式 オンライン・対面併催

会場 京都大学福井謙一記念研究センター(京都市左京区高野西開町34-4) [交通] 京都

バス「藤倉橋」より北へ徒歩1分、京都市バス「高野橋東詰」より南へ徒歩5分、京阪「出町柳」駅より北へ徒歩15分

参加申込締切 定員になり次第

京都大学福井謙一記念研究センターでは、企業で研究開発を行ってられる技術者・研究者の方を対象とした「産業応用のための基礎化学講座」を2019年度より開講しております。今年度は以下の6回の講義を予定しています。

7月25日(金) ナノ分離工学(ナノを分ける, ナノでわかる)(京大院工) 佐野紀彰

10月15日(水) 有機発光・電荷輸送の基礎(京大化研) 梶弘典

11月7日(金) AIが切り拓く材料設計の最前線(ENEOS) 大場優生

12月12日(金) 強誘電体の基礎原理と最近の物質開発動向(京大院工) 藤田晃司

1月21日(水) 量子ビーム利用における産学連携(京大化研) 竹中幹人

2月4日(水) 振電相互作用理論の基礎から応用(京大福井セ) 大田 航

※各回、13時30分~16時45分を実施します。詳細につきましては、下記HPをご覧ください。

参加費 8,700円

懇親会 各講座終了後(17時~18時)、講師を囲んで交流会を開催します。各回会費2,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 606-8103 京都市左京区高野西開町34-4 京都大学福井謙一記念研究センター「産業応用のための基礎化学講座」係 E-mail: openlec2025@fukui.kyoto-u.ac.jp <https://www.fukui.kyoto-u.ac.jp/openlec2025.html>

埼玉大学工学部 サイエンススクール ~1日体験化学教室~

主催 埼玉大学工学部応用化学科

共催 日本化学会関東支部

会期 7月26日(土)9時15分~16時

開催方式 対面式

会場 埼玉大学工学部応用化学科棟2号館(さいたま市桜区下大久保255) [交通] JR「北浦和」駅の西口バス停から「埼玉大学」行バスで終点下車。JR「南与野」駅から「南与野駅北入口」バス停まで歩き(3分)、「埼玉大学」行バスで終点下車。JR「南与野」駅の西口バス停からすべての便が埼玉大学を経由。東武東上線「志木」駅の東口バス停から「南与野駅西口」行バスで「埼玉大学」下車

参加申込締切 7月18日(金)定員(40名)になり次第

実験テーマは以下の4テーマを予定しています。実験終了後は自由参加で学科説明や学科内ツアーも行います。化学の魅力とキャンパスライフを体感して下さい。

- 藍染め・デニムの青い色素インジゴを合成して、ハンカチを染めてみよう!
- 酵素(生体触媒)の活性を可視化しよう
- 二酸化炭素を利用する新技術を体験しよう~未来の地球を救うためには?~
- 伸び続ける糸、光り出す液、割れないシ

ャボン玉…まるで手品？ の界面化学を極めてみよう！
下記の埼玉大学工学部 HP からお申し込み下さい。

対象 高校生

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学工学部サイエンススクール係 (担当: 原口) 電話 (048) 858-3342 E-mail: rikouken-jimuchou@gr.saitama-u.ac.jp <https://www.saitama-u.ac.jp/engineering/>

第 63 回分析化学講習会

—機器分析を基礎から応用まで—

主催 日本分析化学会九州支部

共催 日本化学会九州支部

会期 7月29日(火)~8月22日(金)

開催方式 対面式

会場 九州大学伊都キャンパス (福岡市西区元岡744), 九州大学馬出キャンパス (福岡市馬出3-1-1), 福岡大学理学部 (福岡市城南区七隈8-19-1), 福岡市産学連携交流センター (福岡市西区九大新町4-1) [交通] 受講するコースによって会場が異なりますので、各会場へのアクセスを確認下さい。

参加申込締切 7月11日(金)

講義と実習 (7月29日(火), 8月4日(月)~8日(金), 22日(金))

1. ガスクロマトグラフィー (GC)

8月7日(木), 8日(金) (1日コース, 両日とも同一内容) 於九州大学伊都キャンパス

2. 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)

8月5日(火), 6日(水) (2日コース) 於九州大学馬出キャンパス

ランチョンセミナー (8月5日(火), 6日(水), 12時~13時, HPLC会場のみ)

3. 誘導結合プラズマ-質量分析法 (ICP-MS)

8月7日(木), 8日(金) (1日コース, 両日とも同一内容) 於九州大学伊都キャンパス

4. X線分析 (X-ray)

8月22日(金) 於福岡大学理学部

5. 電子顕微鏡分析 (SEM, TEM)

7月29日(火) 於福岡市産学連携交流センター

6. 核磁気共鳴分光法 (NMR)

8月4日(月) 於福岡市産学連携交流センター

7. 分光分析法 (Raman)

8月5日(火) 於福岡市産学連携交流センター

参加費 主催・共催会員 35,000円 (非課税), 会員外 45,000円 (税込), 学生 15,000円

参加申込方法 E-mail 参加希望の方は申込先 E-mail に (1) 受講者氏名, (2) 所属, (3) 連絡先 (郵便番号, 住所, 電話, E-mail), (4) 希望コース (GC, HPLC, ICP-MS, X-ray, SEM/TEM, NMR, Raman の 7 コースから選択, 日程が重ならなければいくつでも可), (5) 所属する主催および共催学協会 (複数回答可) を記入して送信下さい。

申込先・問合せ 870-1192 大分市旦野原 700 大分大学理工学部 電話 (090) 9796-2778 E-mail: tinoue@oita-u.ac.jp

2025 印刷・情報・電子用材料 研究会基礎講座

主催 高分子学会印刷・情報・電子用材料研究会

協賛 日本化学会

会期 8月1日(金) 10時~17時

開催方式 対面式

会場 東京理科大学森戸記念館第一フォーラム (新宿区神楽坂4-2-2) [交通] JR「飯田橋」駅/東京メトロ「飯田橋」駅下車徒歩6分, 都営大江戸線「牛込神楽坂」駅下車徒歩3分
参加申込締切 参加費のみを7月末までにご送金下さい。

参加費 企業 14,300円, 大学・官公庁 5,500円, 学生 2,200円, 名誉・終身・フェロー・ゴールド・シニア会員 2,200円, 医用高分子研究会メンバー: 企業 11,000円, 大学・官公庁 4,400円

参加申込方法 郵送等

申込先・問合せ 104-0042 中央区入船3-10-9 新富町ビル6F 公益社団法人高分子学会 電話 (03) 5540-3770 E-mail: sugimoto@spsj.or.jp <https://member.spsj.or.jp/event/>

日本学術会議シンポジウム カーボンニュートラルに向けた 水素の多面的な利活用

—第1回水素を作る—

主催 日本学術会議物理学委員会 日本学術会議材料工学委員会 日本学術会議化学委員会 日本学術会議総合工学委員会

後援 日本化学会

会期 8月1日(金) 9時30分~17時

開催方式 オンライン・対面併催

会場 日本学術会議講堂 (港区六本木7-22-34) [交通] 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口

参加申込締切 7月29日(火) HP (<https://www.scj.go.jp/ja/event/2025/383-s-0801.html>) よりお申し込み下さい。

社会の喫緊の課題であるカーボンニュートラルに向け産業界と様々な学術分野の連携を図り、水素利用に関する課題を明確化します。水素の利活用というテーマは非常に広い分野が関係するため、水素を「作る」「運ぶ」「使う」等のキーワードで、複数回のシンポジウムを行うことを想定し、第1回は「作る」ことにフォーカスして、産業界で求められている需要を共有し、水素を作る技術とその関連研究の講演と、今後の水素連携につながる議論を行います。

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合せ シンポジウム組織委員会 森 初果 E-mail: hmori@issp.u-tokyo.ac.jp https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfB5wJ_t7eAyd-bY0o6Z5CGAQLhs_tWzKxH4zQ4ALAh_Xdfw/viewform

山梨大学工学部 オープンキャンパス 1日体験化学教室

主催 山梨大学工学部工学科応用化学コース・クリーンエネルギー化学コース

共催 日本化学会関東支部

会期 8月2日(土)

開催方式 対面式

会場 山梨大学甲府キャンパス (甲府市武田4-4-37) [交通] JR「甲府」駅北口より徒歩20分, または山梨交通バス「山梨大学前」下車すぐ

参加申込締切 7月末日予定。ただし定員 (60人) になり次第

9テーマから2つの実験テーマを選んで参加できます。参加申込された方に E-mail で希望する実験テーマを伺い、それを基に参加テーマを決定いたします。1テーマの所要時間は研究室の見学時間を含め約40分です。以下はテーマの例です。

- ・色ガラスをつくろう
- ・偏光フィルムをつくろう
- ・ホテルの光が試験管の中で?
- ・燃料電池でグリーン発電
- ・自然界に学ぶ化学—光合成と超撥水—
- ・「ナノ」の世界をのぞいてみよう
- ・光るマスコットマグネットをつくろう

詳細は、下記の山梨大学応用化学コースのHPから、1日体験化学教室のページをご覧ください。

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 400-8510 甲府市武田4-4-37 山梨大学工学部工学科応用化学コース 阪根英人 電話 (055) 220-8551 E-mail: taiken-kagaku@yamanashi.ac.jp <http://www.chem.yamanashi.ac.jp/>

2025 年度夢・化学-21 化学への招待・高校生のための 化学講座 (岐阜)

主催 日本化学会

会期 8月6日(水) 13時~16時

開催方式 対面式

会場 岐阜大学工学部化学・生命工学科工学科講義棟1階102教室集合 (岐阜市柳戸1-1) [交通] JR「岐阜」駅・「名鉄岐阜」駅より岐阜バスC70 (またはC71, C72, N37) 系統「岐阜大学病院」行き30分「岐阜大学」下車

参加申込締切 7月9日(水) ただし定員 (65名) になり次第

体験実習テーマ8テーマを予定。詳細は決まり次第、岐阜大学工学部化学・生命工学科 HP (<https://www.eng.gifu-u.ac.jp/kagaku-seimei/>) などにて発表します。

対象 高校生

参加費 無料

参加申込方法 E-mail

申込先 503-2495 揖斐郡池田町六之井 242-1 岐阜県立池田高等学校 藤村優 E-mail: p54683@gifu-net.ed.jp

問合せ 同上 岐阜大学工学部化学・生命工学科 窪田裕大 電話 (058) 293-2596 E-mail: kubota.yasuhiro.u8@f.gifu-u.ac.jp

高校生のための化学実験講座 (第116回)

主催 国立科学博物館 日本化学会関東支部

会期 8月9日(土)14時30分～16時
開催方式 対面式
会場 国立科学博物館上野本館地球館3階
 実験実習室(台東区上野公園7-20) [交通]
 JR「上野」駅公園口から徒歩5分、東京メトロ
 「上野」駅7番出口から徒歩10分
参加申込締切 7月27日(日)定員(20名)
 を超えた場合は抽選
 隕石の化学(国立科博) 米田成一
 太陽や地球は約46億年前に星の間にただ
 ようガスやちりから生まれました。隕石はそ
 のときに固まって以来、あまり変化を受けて
 いません。今回は、隕石を実際に手にとって
 地球上の岩石との違いを観察し、簡単な実習
 を行いながら、隕石の化学組成や同位体組成
 から地球や太陽系の始まりについてどうい
 うことがわかってきたかを解説します。
対象 高校生
参加費 50円(保険料, 当日集めます)
参加申込方法 Web
申込先・問合せ 110-8718 台東区上野公園
 7-20 国立科学博物館学習課 人材育成・学
 習支援担当 電話(03)5814-9888 E-mail:
 lecture@kahaku.go.jp <https://www.kahaku.go.jp/event/all.php?month=202508>

KSDGs 夢化学 21 in Kagawa おもしろわくわくサイエンス展 '25

主催 夢化学 21 in Kagawa 実行委員会
共催 日本化学会中国四国支部
会期 8月9日(土)13時～10日(日)17時
開催方式 対面式
会場 徳島文理大学高松駅キャンパス(高
 松市浜町8-53) [交通] JR「高松」駅徒歩
 1分
参加申込締切 申込みは不要です。直接会場
 にお越し下さい。
 化学に関する演示実験や体験実験を通し
 て、化学や化学技術の重要性、面白さや不思議
 さを伝える活動です。児童・生徒の素朴な
 疑問や好奇心を感動につなげる機会を提供す
 ると共に、保護者の皆様に化学や化学技術に
 興味を持ってもらいたいと思っています。詳
 細は下記HPをご覧ください。
参加費 無料
参加申込方法 Web
申込先・問合せ 760-8522 高松市幸町1-1
 香川大学教育学部内 夢化学 21 in Kagawa
 実行委員会代表 高木由美子 電話/FAX
 (087)832-1461 E-mail: takagi.yumiko@
 kagawa-u.ac.jp <http://www.icedes.net/j/wakuwaku2025.html>

令和7年度中学生向け公開講座 「身のまわりのおもしろ化学実験」

主催 鈴鹿工業高等専門学校生物応用化学
 科
共催 日本化学会東海支部
会期 8月19日(火)10時～20日(水)16
 時
開催方式 対面式
会場 鈴鹿工業高等専門学校(鈴鹿市白子
 町) [アクセス] 鈴鹿高専 HP (https://www.suzuka-ct.ac.jp/guide/guide_index/access/)
 をご参照下さい。

参加申込締切 7月4日(金)～7月23日(水)
 12時
 ※応募数が定員(8月19日(火)・20日(水)
 とともに32名)を超えた場合、主催者側で調整
 することがあります。
 化学への関心を深めていただくため次の4
 つのテーマについての化学実験を体験してい
 ただきます。
 テーマ1. バイオディーゼル燃料を作ってみ
 よう!
 テーマ2. 磁石にくっつく液体を体験してみ
 よう!
 テーマ3. 遺伝子DNAを使って絵を描こう!
 テーマ4. 顕微鏡で細菌を観察してみよう!
 8月19日(火)と20日(水)に同じ内容の講座
 を2回実施します。いずれか1回のみの受講
 になります。両日とも開講時間は10時～16
 時です。
対象 中学生
参加費 50円(傷害保険への加入のため)
参加申込方法 Web
申込先 鈴鹿工業高等専門学校 総務課 総
 務企画係 https://www.suzuka-ct.ac.jp/general/general_index/event/
問合せ 510-0294 鈴鹿市白子町 鈴鹿工業
 高等専門学校 総務課 総務企画係 電話
 (059)368-1717

1日体験化学教室 ～先端化学にふれてみよう～

主催 東京大学理学部化学科
共催 日本化学会関東支部
会期 8月26日(火)13時～15時30分
開催方式 対面式
会場 東京大学理学部化学科(文京区本郷
 7-3-1) [交通] 東京メトロ南北線「東大前」
 駅下車徒歩10分、東京メトロ千代田線「根
 津」駅下車徒歩10分、東京メトロ丸の内線
 「本郷三丁目」駅下車徒歩15分、都営地下鉄
 大江戸線「本郷三丁目」駅下車徒歩15分、都
 営バス学01系統・学07系統「東大構内」バ
 ス停下車徒歩3分
参加申込締切 定員(100名)になり次第
 1. 受付, 2. オリエンテーション, 3. 講義
 「化学で未来をピカリと照らそう! ようこ
 そ、光化学の世界へ」楊井伸浩, 4. 学内設
 備紹介
対象 中学生, 高校生
参加費 無料
参加申込方法 Web 下記HPから必要事項
 を記入し、お申し込み下さい。
申込先・問合せ 113-0033 文京区本郷7-3-1
 東京大学理学部化学科 東京大学1日体験化
 学教室 世話人 山野井慶徳 電話(03)
 5841-4348 E-mail: yamanoi@chem.s.u-tokyo.
 ac.jp <https://forms.gle/JMWMsce1YJ37VsSTA>

フォトポリマー懇話会 第35回講習会

主催 フォトポリマー懇話会
協賛 日本化学会
会期 8月28日(木)9時15分～29日(金)
 17時20分
開催方式 オンライン

参加申込締切 8月14日(木)
8月28日(木)
 1. 光化学の基礎と分子デザイン(成蹊大) 稲
 垣昭子
 2. 光反応中間体と観測(神奈川大) 河合明
 雄
 3. ポリマーの光化学と特性(大阪公立大) 岡
 村晴之
 4. リソグラフィの基礎とフォトレジストの
 材料設計(Eリソリサーチ) 遠藤政孝
 5. フォトポリマーの特性評価(リソテック
 ジャパン) 関口 淳
 6. 総括討議
8月29日(金)
 7. レジストの分析(東レリサーチ) 小北哲
 也
 8. 光酸発生剤の基礎と先端材料への応用(富
 士フイルム) 土村智孝
 9. 感光性耐熱材料の開発と事業化(三井化
 学) 表 利彦
 10. 微細加工用レジスト(兵庫県大) 渡邊健
 夫氏
 11. トピックス 積層型CMOSイメージセン
 サー(ソニーセミコンダクタソリューション
 ズ) 梅林 拓
 12. 総括討議
参加費 会員18,000円(4名以上参加の場合
 は一律65,000円/会員企業)、日本化学会会
 員18,000円、非会員28,000円、学生8,000
 円
参加申込方法 Web
申込先・問合せ 162-7601 新宿区神楽坂
 1-3 東京理科大学理学部第二部化学科 青
 木研究室内 フォトポリマー懇話会事務局
 電話(03)5228-8275 E-mail: poffice@tapj.
 jp <https://www.tapj.jp/>

第19回日本電磁波エネルギー 応用学会シンポジウム (Sympo2025(甲南大@神戸))

一異分野のアカデミア・メーカー研究者が
 神戸に集う「最先端技術がわかる」
 学際的なシンポジウムー

主催 日本電磁波エネルギー応用学会
協賛 日本化学会
会期 8月28日(木)13時5分～30日(土)
 18時15分
開催方式 対面式
会場 甲南大学平生記念セミナーハウス/
 平生記念館(神戸市東灘区住吉本町2-29-15)
 [交通] JR神戸線「住吉」駅下車北西へ徒歩
 約10分・阪急神戸線「御影」駅下車南東へ
 徒歩約10分
参加申込締切 8月8日(金)
 当学会はマイクロ波エネルギー利用の化学
 と技術に関する国内でも重要な、「日本学術
 会議協力学術研究団体」指定の学会です。シ
 ンポジウムは当学会最大の行事、200人近い
 来場者、100件近くの口頭・ポスター・企業
 発表がなされます。8月28日(木)は「2025
 年度ショートコース1ー電磁波エネルギー
 利用技術 ver2.1ー産業界・学界での、いま注
 目すべき取り組み」で学界・産業界の取り組
 みを6人の講師が講演。シンポジウムと別料
 金ですが、8月28日(木)のみの参加も可。8
 月29日(金)、30日(土)はシンポジウムで口

頭・ポスター発表、招待講演(理化学研究所、東京大学所属の講師決定、他交渉中)、企業発表、機器展示、学会選考の賞受賞者の講演。化学・電気・材料・装置等複数ジャンルの産官学の研究者・メーカーによる幅広い分野の研究・開発の発表と議論がなされ、複数分野の専門家・異業種の人との情報交換可能。共同研究を始めるための「新たな人脈」「独創的な研究分野の開拓」「異分野間での知識の共有」をぜひ!

参加費 7月18日(金)までの前期登録:学会会員9,000円、日本化学会会員9,000円(ほかの協賛団体会員も同額)、非会員18,000円。7月19日(土)~8月8日(金)登録は価格改定(税込み・電子版「講演要旨集」付き・領収書発行・希望者にインボイス制度対応請求書発行)。

懇親会 8月29日(金)夕方、会場内で開催。

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 155-0033 世田谷区代田5-13-17 JEMEA事務局 日本電磁波エネルギー応用学会 事務局長 佐藤容子 電話/FAX(03)3414-4554 E-mail: office@jemea.org <https://www.jemea.org/>

資源循環の化学と社会

主催 日本化学会関東支部

会期 8月29日(金)10時~16時55分

開催方式 オンライン

参加申込締切 定員になり次第

地球規模の環境問題が深刻化する中で、持続可能な社会の実現に向けた取り組みが求められています。また、我が国は非資源国であり、多くのエネルギー・原材料を海外に依存しています。資源の枯渇や廃棄物の増加といった課題に対し、経済成長と環境負荷低減を両立させる「資源循環経済システム」の構築が急務です。本講演会では、法律・経済・ライフサイクルアセスメント(LCA)の観点も含め、化学資源の効率的利用や循環システムの最適化について transdisciplinary な議論を行い、新たな持続可能な社会のあり方を探ります。

1. プラスチックの資源循環と法政策(上智大) 筑紫圭一
2. サーキュラーエコノミーと資源循環—経済学の視点から(立命館大) 笹尾俊明
3. 脱炭素技術の背後にある資源問題 ~資源パラドックス問題~(立命館大) 山末英嗣
4. 土壌の生物性評価に基づく持続可能な食料生産システムの研究開発(サンリット・シードリングス) 石川奏太
5. 再生可能な芳香族系高分子材料としてのリグニンの可能性(リグニンネットワーク) 山田竜彦
6. カネカ生分解性バイオポリマー Green Planet® の開発と炭素資源循環に関する取り組み(カネカ) 福田竜司

参加費 会員17,000円、学生会員2,000円、非会員一般25,000円、非会員学生4,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 日本化学会関東支部 E-mail: kanto@chemistry.or.jp <https://kanto.csj.jp/>

単結晶 X線構造解析合宿

主催 愛媛大学学術支援センター、大学連携研究設備ネットワーク

後援 日本化学会中国四国支部

会期 9月2日(火)13時30分~4日(木)11時

開催方式 対面式

会場 愛媛大学学術支援センター物質科学研究支援部門(松山市文京町2-5) [交通] 伊予鉄道市内電車環状線「赤十字病院前」駅下車北徒歩5分

参加申込締切 8月8日(金)

愛媛大学学術支援センター物質科学研究支援部門が管理しているX線回折装置(VariMax-Saturn-Mo)を使つての反射測定および汎用的なソフトウェア上でSIR, Shelx, Platonなどの実行ソフトを走らせ、単結晶X線構造解析を行うノウハウを習得する。本合宿は、研究室内ではX線測定・解析を行っているが、本人はまだ解析を行ったことがない方といった、初心者向けの内容が中心です。

参加費 無料

参加申込方法 E-mail 下記申込先にE-mailで連絡して下さい(定員10名、多数の場合には抽選等により人数を調整させていただきます)。E-mail 件名は「X線構造解析合宿申込」として下さい。

申込先 790-8577 松山市文京町2-5 愛媛大学学術支援センター 森本真規 電話(089)927-9661 FAX(089)927-9670 E-mail: morimoto.maki.ti@ehime-u.ac.jp

問合せ 同上 愛媛大学学術支援センター 森重樹 電話(089)927-9663 FAX(089)927-9670 E-mail: mori.shigeki.mu@ehime-u.ac.jp

第25回若手NMR研究会

主催 若手NMR研究会実行委員会

協賛 日本化学会

会期 9月8日(月)13時30分~10日(水)12時5分

開催方式 対面式

会場 グランドニッコー淡路(淡路市夢舞台2) [交通] 「淡路夢舞台前」徒歩1分

参加申込締切 7月24日(木)(予定)

基礎講座、招待講演、企業講演、学生・若手研究者による口頭発表・ポスター発表

1. 基礎講座(NMRの基礎)(東大) 外山侑樹
2. 基礎講座(タンパク質のNMR測定・構造解析)(北大) 久米田博之
3. 超核偏極を材料化学とする(東大) 楊井伸浩
4. 結晶の固体NMR(徳島大) 犬飼宗弘
5. TBD(石川県大) 小椋賢治
6. NMR装置について: 小型・高磁場の次世代マグネット開発の観点から(理研・JEOL) 柳澤吉紀

参加費 一般35,000円、学生20,000円(予定)

懇親会 グランドニッコー淡路コックラールにて。

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 770-8503 徳島市蔵本町3-18-15 徳島大学 先端酵素学研究所 熊代宗弘 電話(088)633-9149 FAX(088)633-

9147 E-mail: kumashiro@tokushima-u.ac.jp <https://sites.google.com/view/wakatenmr2025/home/>

PFAS 規制対応と代替材料開発

主催 日本化学会関東支部

会期 9月12日(金)10時~16時55分

開催方式 オンライン

参加申込締切 定員になり次第

PFASは過去15年以上ストックホルム条約最重要課題の1つとなっており、近年欧米を中心にPFASへの規制が急速に拡大している。規制に関して国内外で様々な議論がある中、我が国では様々な行政指導・安全管理が検討されてきており、産業界からもPFASを含まない材料開発が求められてきている。本講演会では、産官学の様々な視点からPFAS規制や今後の動向、またその対応としてPFAS代替物質開発の取り組みについて紹介する。

1. PFAS規制の最新動向と今後の見通し(みずほリサーチ&テクノロジーズ) 後藤嘉孝
2. パーフルオロアルキル化合物の基礎科学(京大化学研) 長谷川 健
3. 産業用先端PFAS類の分解・再資源化反応の開発(神奈川大) 堀 久男
4. ペルおよびポリフルオロアルキル化合物(PFAS)の適切な管理を支える測定技術と標準化の動向(産総研) 谷保佐知
5. 繊維用撥水剤のPFAS対応(日華化学) 吉野 豪
6. DIC界面活性剤の機能発現のメカニズムと高性能PFASフリー界面活性剤の開発(DIC) 植野純平

参加費 会員17,000円、学生会員2,000円、非会員一般25,000円、非会員学生4,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 日本化学会関東支部 E-mail: kanto@chemistry.or.jp <https://kanto.csj.jp/>

第22回 糖鎖科学コンソーシアム シンポジウム

主催 日本糖鎖科学コンソーシアム

後援 日本化学会

会期 9月19日(金)、20日(土)

開催方式 対面式

会場 星薬科大学(品川区荏原2-4-41) [交通] 東急池上線「戸越銀座」駅、都営浅草線「戸越」駅、東急目黒線「武蔵小山」駅より徒歩5~10分

参加申込締切 後日案内予定

参加費 一般5,000円、学生無料

懇親会 9月19日(金)、星薬科大学にて。会費: 一般8,000円、学生2,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 142-8501 品川区荏原2-4-41 星薬科大学第22回糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム事務局 眞鍋史乃 電話(03)5498-5770 E-mail: sympo-22@jcgg.jp <http://www.jcgg.jp/pdf/jcgg250919.pdf>

入門触媒科学セミナー

主催 近畿化学協会触媒・表面部会
協賛 日本化学会近畿支部
会期 10月7日(火)10時~8日(水)17時
開催方式 対面式
会場 大阪科学技術センター4階405号室
 (大阪市西区靱本町1-8-4) [交通] 地下鉄四つ橋線「本町」駅25・28番出口を北へ約5分または同御堂筋線「本町」駅6番出口を西北へ約10分(うつぼ公園北詰)
参加申込締切 9月11日(木)
第1日目 10月7日(火)
 1. 開会挨拶(阪大院基礎工) 満留敬人
 2. 触媒科学の基本概念—これだけは知っておこう(関西大環境都市工) 池永直樹
 3. 遷移金属錯体触媒—錯体の基礎と有機合成触媒反応(阪公大院理) 亀尾 肇
 4. 固体表面の酸・塩基点とその触媒機能(阪公大院工) 田村正純
第2日目 10月8日(水)
 5. 金属酸化物触媒—触媒機能の宝庫(京工織大材料化学系) 細川三郎
 6. 金属ナノ粒子触媒—構造と触媒作用及び設計法(阪大院基礎工) 満留敬人
 7. 触媒調製化学—基礎から最近のナノ構造触媒まで(阪大院工) 桑原泰隆
 8. 閉会挨拶(阪大院基礎工) 満留敬人
交流懇親会 10月7日(火)。会費：無料
参加費 両日参加：協賛団体会員27,000円, 近畿化学協会触媒・表面部会法人会員22,000円, 一般37,000円, 学生6,000円, (いずれか1日参加：協賛団体会員17,000円, 触媒・表面部会法人会員12,000円, 一般27,000円, 学生6,000円(いずれも講義資料, 消費税10%含む)
参加申込方法 Web
申込先・問合先 550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 近畿化学協会触媒・表面部会 電話(06)6441-5531 FAX(06)6443-6685 E-mail: catal@kinka.or.jp https://kinka.or.jp/

catalytic/

第127回有機合成シンポジウム

主催 有機合成化学協会
共催 日本化学会
会期 11月6日(木), 7日(金)
開催方式 対面式
会場 早稲田大学国際会議場(新宿区西早稲田1-20-14) [交通] 東京メトロ東西線「早稲田」駅下車徒歩10分
参加申込締切 10月10日(金)
受賞講演
 1. 2024年度有機合成化学協会賞(技術的なもの)(東京科学大物質理工)中島裕美子
 2. 2024年度企業冠賞「東ソー・環境エネルギー賞」(阪大院基礎工) 鷹谷 絢
一般発表 口頭発表, ポスター発表, 学生優秀発表表彰
参加費 一般(主催会員, 共催会員)12,000円, 学生会員(会員, 会員外とも)5,000円 [予稿集付]/2,000円 [予稿集なし], 一般(会員外)17,000円
懇親会 11月6日(木)夕刻に開催予定。会費：一般4,000円, 学生1,000円
参加申込方法 Web
申込先・問合先 有機合成化学協会 E-mail: ssocj-event@ssocj.or.jp https://www.ssocj.jp/event/127symposium/

第52回炭素材料学会年会

主催 炭素材料学会
後援 日本化学会
会期 11月26日(水)~28日(金)
開催方式 対面式
会場 長野市生涯学習センターTOIGO WEST(3・4階)(長野市大字鶴賀問御所町1271-3) [交通] 電車：JR「長野」駅善光寺

口より徒歩約10分, 長野電鉄「市役所前」駅より徒歩約3分, バス：長電バスまたはアルピコ交通「昭和通り」下車徒歩約1分
参加申込締切 事前割引料金適用(～10月31日(金)), 通常料金(11月1日(土)～11月28日(金))

今年の特別セッションのテーマは「低次元ナノカーボンの創成と応用(Synthesis and applications of low-dimensional nanocarbons)」です。低次元炭素体である「ナノカーボン」は信州大学の遠藤先生によって提唱されて以来, 35年余りが経っていますが, 今なおホットな研究領域として基礎から様々な応用まで研究が大きく進展しています。このような背景の中で, 新しいナノ炭素科学の視点も踏まえ, あらためて議論する場を本年会では供したいと思えます。学界そして産業界の皆様からの一般講演を広く募集いたします。また, 本年は英語にて講演いただくインターナショナルセッションを開催いたします。特別セッションおよびインターナショナルセッションでは, 共催・協賛学会会員であれば, 炭素材料学会の会員以外でも講演することができます。

参加費 事前割引料金適用(～10月31日(金))：共催・協賛学協会会員9,000円, 共催・協賛学協会学生会員4,000円, 通常料金(11月1日(土)～11月28日(金))：共催・協賛学協会会員13,000円, 共催・協賛学協会学生会員6,000円

懇親会 シャトレーゼホテル長野にて。会費：一般7,000円, 学生5,000円

参加申込方法 Web
申込先・問合先 162-0801 新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター 炭素材料学会年会ヘルプデスク・青木 E-mail: tanso-desk@conf.bunken.co.jp https://www.tanso.org/contents/event/conf2025/

“講演会・講習会”欄／“研究発表会—発表募集”欄への投稿について

①掲載対象

- ①“講演会・講習会”欄，“発表募集”欄に掲載する行事は、日本化学会の本部、支部、部会、研究会が、主催、共催、協賛、後援するものに限り、
- ②掲載は、当会の主催を除き、事前に共催・協賛・後援依頼申請後、許諾認可番号を受けたものが対象となります。許諾認可番号のない行事の原稿は掲載できませんのでご注意ください。
- ③「化学と工業」誌“行事一覧”は、日本化学会ホームページ・イベントカレンダーに掲載されます。

②掲載欄

- ①掲載は、“講演会・講習会”欄かまたは“発表募集”欄のどちらか1回に限り、両方への掲載はできません。
- ②“講演会・講習会”欄に掲載する内容は、“主催者側からの依頼による講演などが中心の行事”の参加募集です。
- ③“発表募集”欄に掲載する内容は“一般応募による講演などが中心の行事”の発表募集です。

③参加登録費

原則として日本化学会個人会員が主催者の会員と同等の条件（参加費用）で参加できることが化工誌への掲載条件です。参加費の設定が複数ある場合には、別に本会会員の参加費を明記して下さい。
例：○○学会会員 10,000円、日本化学会会員 10,000円、共催団体 15,000円、非会員 20,000円

④原稿締切日と掲載月

- ①原稿締切日は、毎月 25 日です。前月 26 日から当月 25 日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ②通知された掲載月以外に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

⑤原稿作成と投稿方法

- ①原稿は専用投稿フォーマットを使用して作成して下さい。
- ②制限字数は 900 字です。900 字以内であれば掲載料は無料ですが、超過した場合には超過分 900 字につき 17,000 円の有料掲載となります。
- ③専用フォーマット使用方法
 - A) フォーマットに記載されている項目以外に項目が必要な場合は、「記事内容」欄の中で表記して下さい。
 - B) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
 - C) 機種に依存する文字の注意；機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

【使用できない文字例】

- ・半角カナ；ｱｶｶﾝ, 記号（約物）；,。〔（/ 等
 - ・ローマ数字；I II III IV, 丸数字；①②③④
 - ※アルファベットの I, V, X, Y を組み合わせてローマ数字を表現。※文字の代わりに (1) (2) の表記を使用。
 - ※組文字は全角（株）（有）mm での表記にする。
- D) テキスト上で表現できない文字（外字、作字）については使用を避けて下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で代用し、投稿フォーマットの“連絡事項”に●印の指示を記入して下さい。
 - E) 文書中で書式指定（上付き、下付き、イタリック体）を希望の場合は、タグ付け（HTML 形式）をして下さい。

【見本】・上付； $P^{2+} \rightarrow P < \text{SUP} > 2 < / \text{SUP} >$

・下付； $\text{CO}_2 \rightarrow \text{CO} < \text{SUB} > 2 < / \text{SUB} >$

・イタリック；*italic* → $< \text{I} > \text{italic} < / \text{I} >$

- ④原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックし、送信内容をご確認下さい。内容確認後、送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はできませんのでご注意ください。
- ⑤投稿完了後、受理通知メールが発信人宛に返信されます。受理通知メールにて、受付番号、掲載予定号、投稿内容が確認できます。受理通知メールが届かない場合は、正常に原稿が受理されていないおそれがありますので、必ず受理通知メールをご確認下さい。
- ⑥投稿原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。
- ⑦送信後に大幅な訂正が生じた場合
 - ①原稿締切（当月 25）日まで；投稿フォーマットの“連絡事項”欄に投稿した際の受理通知メールに記載の受付番号、受理通知メール受信日と原稿差替えの旨を記入し再投稿して下さい。その際、E-mail にて三美印刷宛その旨をご通知下さい。
 - ②原稿締切日以降は原則として訂正はできません。

⑦問合せ

【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部
電話 (03) 6807-8212 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp

【投稿・請求に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局
E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

日本化学会 共催・協賛・後援を希望される場合の手続きについて

本会の共催・協賛・後援を希望される場合には、本会ホームページ（www.chemistry.or.jp/application/sponsorship/index.html）より申請をお願いしております。審査の後、諾否のお知らせを E-mail にてお送りいたします。

なお許諾の後、本誌“講演会・講習会”、“研究発表募集”、“研究発表プログラム”欄への掲載を希望される場合は、それぞれの掲載要項

をご参照のうえ、本会ホームページよりご投稿下さい。

問合せ 日本化学会 総務部「共催・協賛・後援」係
101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5
電話 (03) 3292-6162 FAX (03) 3292-6318
E-mail: info@chemistry.or.jp